

トランスミッターでテストをする時のご注意

周波数81.0MHz以外で
テストをする場合は
アンテナ部分を
必ず外してください

①アンテナ部分を外す
受信状態が強いと反応しませんので、
アンテナは外した状態でテストしてください
操作手順書 P.5参照

②このアンテナ入力付近にFMトランスミッター
本体をなるべく側まで近づけてご利用下さい



総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション

総合窓口 0742-53-7833

業務管理センター

奈良県奈良市押熊町557-7 4F

◎当商品は、画面が暗く、文字が薄いため、見え辛くご迷惑おかけしますが、ご了承くださいますようお願い申し上げます。 2

操作方法

注意！ファイルの途中から再生すると正常な試験音と認識できませんので、必ず経過時間が0：00：00であることを確認し、冒頭から流してください。

出荷時は、周波数を81.0MHzにしています。81.0MHzのまま操作される方は、⑧からの操作になります。

設定の仕方

- ① 本体上部の「切り替えスイッチ」を「バッテリー」側へスライドします。電源がオンになるとディスプレイに「GREEN HOUSE」ロゴが表示されます。
- ② 「音楽」の画面になります。▶▶を押し、「メニュー」ボタンをおします。
- ③ ▶▶で「FMトランスミッター」を選択し、▶▶おします。
- ④ ▶▶で「周波数設定」を選択し▶▶をおします。
- ⑤ ◀◀/▶▶で周波数を設定し▶▶をおします。
- ⑥ 「戻る」ボタンを押して音楽再生画面へ戻ります。
- ⑦ デジタルもぐらの受信周波数がトランスミッターで設定した周波数と合っている事をかくにんして下さい。

操作を間違えたり、分からなくなった時は、戻るを数回押して「音楽」に戻って、やり直してください。

デジタルもぐらに電波を飛ばす

- ⑧ 「音楽」の画面から▶▶を押し、◀+か◀-で音量を上げておきます。電波が良く飛びます。音量は40（MAX）でご利用ください。
- ⑨ 「「01緊急地震速報訓練」または「02緊急警報訓練（津波）」のどちらかを◀◀/▶▶で選択し、▶▶を押すと電波が出され、試験放送がはじまります。NHKのチャイム音に反応して、起動します。反応しにくい時は、アンテナを伸ばしたり、トランスミッター本体をアンテナに近づけて下さい。
- ⑩ 試験放送が終わるまでトランスミッターを移動させないで下さい。試験が途中で終了する可能性があります。
- ⑪ 「02緊急警報訓練（津波）」を実行された場合は、必ず「03緊急警報訓練終了」を実行するか、デジタルもぐら本体の電源を入れ直して下さい。それを行わないとデジタルもぐらは警報が継続していると見なして、新たな緊急警報を受信できません。
- ⑫ ▶▶を押すと、再生が止まります。再度使用する際には◀◀/▶▶で経過時間を戻し、0：00：00の状態にてご使用下さい。
- ⑬ 「戻る」ボタンを押して音楽再生画面へ戻ります。
- ⑭ 本体上部の「切り替えスイッチ」を「USB/オフ」側へスライドします。電源オフとなり終了です。

※初期設定では120秒（2分）で自動的に電源が設定になっていますので、電源が切れた場合には「切り替えスイッチ」を一旦「USB/オフ」にした後、再度「バッテリー」にスライドするか、▶▶ボタンを4秒間押し続け、スリープから復帰をお願いいたします。長期間ご使用されない場合には必ず「USB/オフ」にして下さい。

緊急地震速報試験用トランスミッター 取扱説明書

重要！！

トランスミッターを使用する試験放送は下記の二通りのやり方がございます。

A. トランスミッター出荷時設定の「81.0MHz」で行う場合

- デジタルもぐらをトランスミッターの初期設定周波数「81.0MHz」に合わせて試験放送を行います。

(「81.0MHz」の周波数は一般に使用されていない周波数になります。) デジタルもぐらの周波数の変更は「簡単設定マニュアル」に記載されております。

試験放送終了後、必ずデジタルもぐらの周波数を元に戻すことを忘れないようご注意ください。(戻し忘れた場合、緊急地震速報・緊急警報(津波等)が受信できません。)

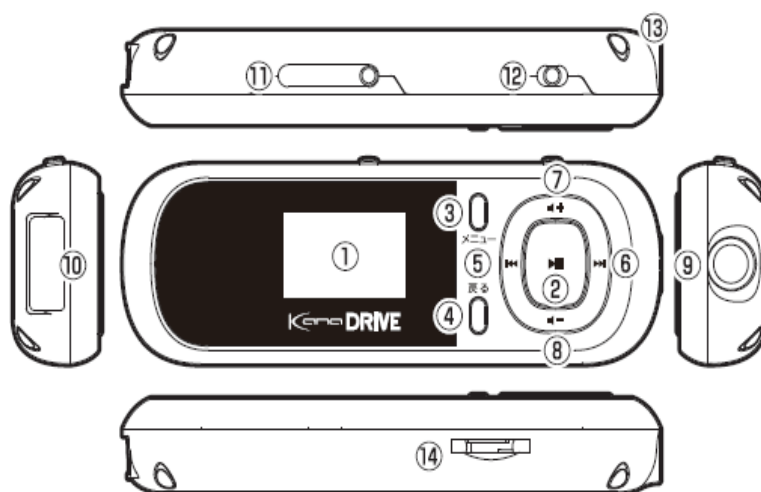
B. トランスミッターの周波数を変更して行う場合

- トランスミッターを放送局の周波数に合わせた場合、他の緊急地震速報受信機を動作させる恐れがあるのでお客様の責任のもとでご使用ください。

1. ご注意事項

- 充電が十分でない場合、電源がONにならなかつたり、電波を出す事が出来なかつたりしますので充電状態を確認してご使用下さい。(確認方法は後述)
- 本器には緊急地震速報の音声録音されたマイクロSDカードが内蔵されております。誤って音声を消去されたり、カードを紛失された場合にはご使用頂けません。音声入りカードは別途有償にて販売しております。

2. 各部の名称



緊急地震速報のリーディングカンパニー





株式会社 Jコーポレーション
総合窓口 TEL 0742-53-7833



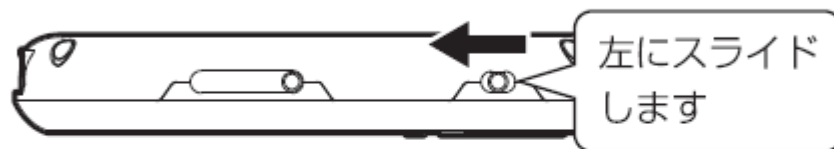
業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F fax 0742-53-7795

本社 三重県津市住吉町 11-13 TEL 059-223-7774

- | | |
|---|---|
| ①ディスプレイ | 動作状態を表示します。 |
| ②▶▶ ボタン | 再生/一時停止をします。
(長押しした場合、スリープへ移行(復帰)します。) |
| ③  ボタン | サブメニューを表示します。 |
| ④  ボタン | 1つ前の画面に戻ります。メインメニューに戻ります。 |
| ⑤▶▶ ボタン | 次のファイル/項目に移動します。 |
| ⑥◀◀ ボタン | 前のファイル/項目に移動します。 |
| ⑦◀+ ボタン | 音量を上げます。 |
| ⑧◀- ボタン | 音量を下げます。 |
| ⑨イヤホン端子 | 専用イヤホンを接続します。
(FMトランスミッターを使用する場合は、イヤホンを取り外してください。) |
| ⑩スライド式USBコネクタ | パソコンとの接続や充電に使用します。 |
| ⑪USBスライドスイッチ | スライド式USBコネクタを引き出します |
| ⑫切り替えスイッチ | 「USB/オフ」と「バッテリー」を切替えます。 |
| ⑬マイク | 周囲の音を録音します。 |
| ⑭microSDカードスロット | microSDカード(別売り)を挿入します。 |

3. 電源を入れる

電源オン 本体上部の「切り替えスイッチ」を「バッテリー」側へスライドします。電源がオンになるとディスプレイに「GREEN HOUSE」ロゴが表示されます。



電源オフ 本体の「切り替えスイッチ」を「USB/オフ」側へスライドします。



*初期設定では120秒(2分)で自動的に電源が切れる設定になっていますので電源が切れた場合には「切り替えスイッチ」を一旦「USB/オフ」にした後、再度「バッテリー」にスライドして下さい。

*長期間ご使用されない場合は必ず「USB/オフ」にしておいて下さい。

4. 充電状態（バッテリー残量）を確認する

ディスプレイの右上にバッテリー残量アイコンが表示され、バッテリーの残量を確認することができます。



5. 充電する

1. 「切り替えスイッチ」を「バッテリー」側へスライドします。
2. 本体上部のUSBスライドスイッチを左へスライドし、USBコネクタを引き出します。
3. 延長USBケーブルを本体に接続して、パソコンのUSBポートや専用シガーソケットアダプタに接続します。
4. ディスプレイに接続中を示す画面が表示され、バッテリー残量アイコンが増減します。
5. 充電が完了すると、バッテリー残量アイコンの増減が停止します。
6. 充電完了後は、「切り替えスイッチ」を「USB/オフ」側へスライドしてください。








*パソコンから取り外す場合は、パソコンのタスクトレイから「GH-KANADRAの取り外し」をクリックし、「‘USB大容量記憶装置’はコンピューターから安全に取り外すことができます」と表示してから取り外してください。

6. メニューとボタンの操作

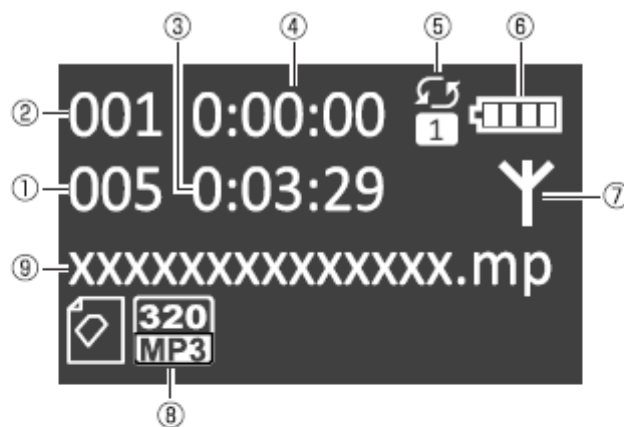
◀◀/▶▶ボタンを押すと各メニューを選択できます。

決定するには▶||ボタンを押します。

各メニューからメインメニューに戻るには、^{戻る}0ボタンを押してください

アイコン	メニュー	機能説明
	音楽	音楽ファイル(MP3、WMA)を再生します。
	録音	周囲の音を録音します。
	録音再生	録音、FMラジオ録音で録音したファイルを再生します。
	FMラジオ	FMラジオを聴きます。
	設定	各種設定を行います。





「音楽」と表示されている画面で▶||ボタンを押すと下記の画面が出ます。



①	005	総曲数
②	001	曲番号
③	0:03:29	再生時間
④	0:00:00	経過時間
⑤		リピートアイコン
⑥		バッテリー残量アイコン
⑦		トランスミッターONアイコン
⑧		再生フォーマットアイコン
⑨	xxxxxxxxxxxxxxxxx.mp	ファイル名



* X X X X X Xの所には「01緊急地震速報訓練」と表示されています。

*再生時のボタン操作は下記をご参照下さい。









再生	一時停止中に  ボタンを押します。
一時停止	再生中に  ボタンを押します。
前のファイルへ	 ボタンを押します。
次のファイルへ	 ボタンを押します。

7. 訓練（操作）方法 ☆アンテナを外した状態で行ってください。


A. トランスミッター出荷時の周波数でテストを行う。

- ①デジタルもぐらの受信周波数を「81.0MHz」に合わせて下さい。
(設定方法はデジタルもぐらの「簡単設定マニュアル」をご参照下さい)
- ②デジタルもぐらを受信待機状態にして下さい。
- ③トランスミッターをデジタルもぐらのアンテナまたはデジタルもぐら本体に近づけて下さい。
- ④4ページの画面で「01緊急地震速報訓練」または「02緊急警報訓練」のどちらかを  ボタン で選択し、  ボタン を押すと電波が出され、試験放送が始まります。
- ⑤試験放送が終わるまでトランスミッターをアンテナまたはデジタルもぐら本体の近くから移動させないで下さい。試験が途中で終了する可能性があります。

B. トランスミッターの周波数を変更してテストを行う。

- ①4ページの画面の状態ですべて「メニュー」ボタンを押して、サブメニューを開きます。
- ②  ボタン で「FMトランスミッター」を選択し、  ボタン を押します。
- ③  ボタン で「周波数設定」を選択し、  ボタン を押します。
- ④  ボタン で周波数を設定し、  ボタン を押します。
- ⑤「戻る」ボタンを押して音楽再生画面へ戻ります。
- ⑥デジタルもぐらの受信周波数がトランスミッターで設定した周波数と合っている事を確認して4ページの画面で「01緊急地震速報訓練」または「02緊急警報訓練」のどちらかを  ボタン で選択し、  ボタン を押すと電波が出され、試験放送が始まります。
- ⑦試験放送が終わるまでトランスミッターをアンテナまたはデジタルもぐら本体の近くから移動させないで下さい。試験が途中で終了する可能性があります。

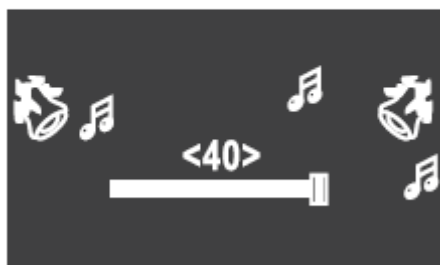
【試験時のご注意事項】

- ① ファイルの途中から再生するとデジタルもぐらが正常な試験音と認識できませんので必ず4ページの画面で「④経過時間」が0:00:00であることを確認して試験して下さい。経過時間が0:00:00で無い場合は  ボタンでファイルを前後するとリセットされます。
- ②「02緊急警報訓練」を実行された場合は、必ず「03終了信号」を実行するか、デジタルもぐら本体の電源を入れ直して下さい。それらを行わないとデジタルもぐらは警報が継続していると見なして、新たな緊急警報を受信出来ません。
※「02緊急警報訓練」には津波の信号が入っています。

8. 音量の調整

4 ページの画面または再生中に下記の操作を行うと音量の調整が出来ます。

1. ◀+ボタンか▶-ボタンを押し、ボリューム画面を表示します。
2. ◀+ボタンか▶-ボタンで音量を調節します



ボリューム画面

*音量は「40」（MAX）でお使いください。これより小さいと電波が弱くなり、デジタルもぐらが正常に受信できない場合があります。

9. こんな時は

①デジタルもぐらがトランスミッターの電波を受信しない。

- ・デジタルもぐらが動作モードになっているか確認して下さい。
- ・デジタルもぐらとトランスミッターの周波数が同じか確認して下さい。
- ・トランスミッターをデジタルもぐらに近づけて下さい。
- ・トランスミッターの音量がMAX（40）になっているか確認して下さい。

②トランスミッターが機能しない。

- ・トランスミッターの充電が十分かご確認下さい。
- ・トランスミッターが音楽再生モードになっているかご確認下さい。

現在のモードが不明な場合は一旦、電源を切り、再度入れ直して下さい。自動的に音楽再生モードになります。

- ・イヤホンを使用し、トランスミッターの音を確認して下さい。
- ・トランスミッターが送信モードになっているかご確認下さい。

トランスミッターのモードはトランスミッターの周波数を変える際のメニューの「オン/オフ」で ▶▶ ボタン を押し、「オン」の所に▶が付いていればOKです。

10. 製品仕様

ディスプレイ	1.1 型 液晶
ディスプレイ画素数	128×64 ピクセル
対応外部メモリー	microSD カード(～2GB) / microSDHC カード(～16GB) ※付属していません ※SD スピードクラス「Class6」まで、「UHS」非対応
対応ファイル形式	MP3(32kbps～320kbps) / WMA(48kbps～192kbps) / WAV ※DRM(デジタル著作権管理)保護されたファイルには対応していません。
録音ファイル形式	WAV(ADPCM)
録音時間の目安(16GB の場合)	約 540 時間(低レベル) / 約 270 時間(中レベル) / 約 90 時間(高レベル) ※お使いの外部メモリーにより録音時間は異なる場合があります。
ヘッドホン出力	最大 1.0mW / 1.6mW
ヘッドホンインピーダンス	16/32 Ω
音声周波数特性	20Hz～20KHz
FM ラジオ受信周波数	76.1MHz～90.0MHz
FM トランスミッター出力周波数	76.0MHz～90.0MHz
搭載端子	ヘッドホン出力端子(ステレオミニ)×1、 USB コネクタ(スライド式)×1、 microSD カードスロット×1
USB 規格	USB2.0(High Speed)
電源	DC 5V(USB 給電)
再生時間(バッテリー)	約 8 時間(音楽再生時) / 約 4 時間(FM トランスミッター使用時)
充電時間	約 4 時間 30 分
動作温度範囲	0℃～35℃
動作湿度範囲	20%～80% (結露なきこと)
付属品	MicroSD 2GB、イヤホン、USB ケーブル
外形寸法	W81×D14×H29(mm) ※USB コネクタ格納時
重量	約 23g
保証期間	1 年間

➤ 保証について

製品保証規定（保証書）

お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。尚、物理的な破損等が見受けられる場合、お客様にて改造・修理されている場合には無償修理の対象外となります。

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償修理いたします。
- 修理は SEND BACK 方式です。※修理依頼時の送料はお客様負担にてお願いします。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、弊社および販売会社は一切責任を負わないものとします。
- 本製品の使用誤りや使用中に生じた本製品に起因する故障・誤動作あるいは停電等の外部要因によって生じた事故・人身・経済損害等、すべての障害について、弊社および販売会社は、一切その責任を負いません。
- 本保証規定に基づく弊社および販売会社の責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - 取扱い上の誤り及び不当な改造や修理によれる故障及び損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほか衝撃による故障及び損傷。
 - 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタをさした場合等）
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障や損傷。
 - 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由は生じた場合による故障及び損害。
 - 日本国外で発生した損害。保証書のご提示が無い場合。
 - 弊社もしくは代理店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合。

本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合のみにて有効なものとなります。

本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

本書は、保証規定の範囲で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間内に故障が発生した場合は、修理をご依頼の上、本書を提示下さい。

（ご提示の際は、必ず複写した物を保管してください）※保証期間中においても出張修理は行いません。

保証書はいかなる場合においても再発行いたしませんので、紛失なさらぬように大切に保管して下さい。本保証書は、個人情報も記載されているので、保証書の保管はお客様の責任において行って下さいませようお願いします。

本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

対象機種	FMトランスミッター FM-DM		
保証期間	年 月 日 より 1年間		
契約者名	(ふりがな)	(ふりがな)	
	会社名	担当者名	
	住所 〒		
	電話番号	FAX 番号	
販売店名			